

電気刺激と超音波

オージー技研
新装置発売

1台で両方治療



医療・介護機器メーカーのオージー技研（岡山市中区海吉）は、電気刺激と超音波治療を1台で行える新装置を発売した。神経痛や関節炎に対応。整骨院や病院のリハビリテーション向けに販売する。同社によると、両機能を併せ持つ装置は国内では珍しいといふ。

神経の働きを抑えて痛みを緩和したり、筋肉を動かして筋力回復

電気刺激と超音波の治療ができる新装置

を図つたりする電気刺激装置と、温めやマッサージ効果で症状を改善させる超音波装置の

機能を1台に集約して一台の販売を目指す。オージー技研は「コンパクトで操作もしやすい」としている。（伊東圭一）

本体（縦32センチ、横24センチ、高さ12センチ）とコードでつながった電気刺激用の電極、超音波治療用の照射器を患部に付けて使う。本体タッチパネルには、「変形性膝関節症」「座骨神経痛」など66の症例ごとに使用方法を表示する機能もある。

オランダメーカーの製品を日本仕様に変更し、自社ブランドとして販売。価格は218万～254万円（税抜き）。国内と東南アジアでそれぞれ年100

（伊東圭一）